

2011年4月7日  
株式会社アキュラホーム

2010年度社会貢献活動レポート

# 木望の未来プロジェクト

## — INDEX —

- アキュラホームの社会貢献活動報告
- 木望の未来プロジェクト概要
- 「カナナ社長のふれあい授業」などの活動報告 児童の声
- 埼玉の木づかいCO<sub>2</sub>貯蔵量認証を取得
- 2011年度活動スケジュール
- 会社概要

## ■ アキュラホームの社会貢献活動報告

### ～社長挨拶～

アキュラホームは、2009年に創業30周年を迎え、これまで支えていただいた皆様に感謝するとともに新たな企業活動として、荒廃が進む森林を守り、環境保全に貢献しながら、当社らしいかたちでの社会貢献に取り組みたいと考えました。そこで「木望の未来プロジェクト」をスタートさせることになりました。

私は、元は大工でしたから、ものを作り、人に喜んでいただく「匠の心」を大切にしています。子供たちにはこの活動を通じて木の魅力を知り、ものを大切にする心を持ってもらえたら幸いです。私たちの社会貢献活動はまだ本当に小さな活動ですが、これからその輪を少しずつ広げていきたいと考えています。

株式会社アキュラホーム  
代表取締役社長  
宮沢 俊哉

### <<「木望（きぼう）の未来プロジェクト」>>

2010年4月より当社は社会貢献活動の一環として、『木望の未来プロジェクト』をスタートしました。「木望の未来プロジェクト」の「木望」は、「木」と「希望」を組み合わせた造語で、木の家を提供する企業として、「木の素晴らしさ」「物の大切さ」「物づくりの楽しさ」を、次代を担う子どもたちに伝えていくプロジェクトです。

#### 木望の未来プロジェクトの基本方針

- ・ 当社は30周年を機に、新たな企業活動として地域とそこに暮らす皆様に、当社らしいかたちで恩返しをすると共に、豊かな社会形成に貢献していきます。
- ・ 当社行動原則（家づくりを通して、環境問題に取り組みます）とこれからの住宅事業者のあるべき姿として、地域環境に貢献する活動を積極的に行っていきます。
- ・ 当社が最も大切にしてきた「モノづくり」の文化、技術という無形な財産を、次代を担う子どもたちに伝えていきます。

活動内容は、地域の森林から得た間伐材※を採用した小学校学習用机の天板（以下 天板）を小学校に寄贈し交換することで、古く傷ついた机を再生します。また、アキュラホーム社長宮沢俊哉による「カンナ社長のふれあい授業」を通して、「木の良さ」と「物の大切さ」を伝えていきたいと考えています。

この活動は、毎年一学年を対象とし、6年間で全学年の天板交換と「ふれあい授業」を実施する計画としています。

間伐材を積極的に採用することによって日本の森林を元気にして地球温暖化防止につながっていききたいと考えています。

※間伐材とは、森林の木が成長するため間引き（木々の間隔を広くするため一部の木を伐採）された木材のことです

※小学校によっては内容を一部変更する場合があります

- ・ 子どもたちに「木の素晴らしさ」「物の大切さ」「物づくりの楽しさ」を伝える
- ・ 再生した机で子どもたちが気持ちよく勉強できる環境づくりのお手伝いをする
- ・ 間伐材を採用することで、森を活性化し、地球環境保護と日本の林業育成の支援に貢献する

日本は国土の67%が森林に覆われている世界有数の森林国家です。そしてその4割が人工林です。人工林の役割は木材を採ること以外にも、水源確保、自然災害防止、地球温暖化防止など多岐にわたります。

しかし、昨今では人工林の間伐が行われずに放置され、荒廃が進んでいます。間伐が行われない理由として、間伐材は細く未成熟材のため主伐材よりも用途が限られることや、安価な輸入木材が多く出回ることによって、需要が減少していることが挙げられます。そのため森林経営の採算が取れなくなり放置されてしまうのです。さらに、たとえ間伐してもその多くが使用されずに破棄されています。

当社はこうした状況を踏まえ、間伐材を積極的に採用することによって、環境保全や地球温暖化防止の一助となればと考えています。また、この活動を通して間伐材利用の啓発を行っていきます。

### ■ 天板交換を実施した小学校

学校名	交換枚数	実施日	対象学年
東京都武蔵野市立D小学校	102枚	2010年11月22日(月)	6年生
埼玉県熊谷市立I小学校	144枚	2010年11月27日(土)	6年生
東京都多摩市立西愛宕小学校	174枚	2010年12月23日(木)	全学年
埼玉県内市立小学校	145枚	2010年12月25日(土)	1年生



再生された机で気持ちのよい授業環境を整えるだけでなく、子どもたちには生活の様々な場面で“木を大切にする気心”を伝えたいという思いから、間伐材を採用した天板に交換した机を「木ごころ机」と名づけました。

### ■ 「カンナ社長のふれあい授業」を実施した小学校

学校名	参加児童数	実施日	対象学年
東京都多摩市立西愛宕小学校	37名	2010年12月22日(水)	5・6年生
埼玉県熊谷市立I小学校	139名	2011年1月31日(月)	6年生
埼玉県内市立小学校	107名	2011年2月17日(木)	6年生

社長の宮沢俊哉が木の大切さを伝える講演と、カンナがけを実演します。そして子どもたちにも実際にカンナがけを体験してもらい、木の持つ温もりを体感してもらいます。

- 対象学年 : 小学5・6年生  
 開催場所 : 教室、又は体育館  
 授業内容 : カンナ社長が「木のよさ」「物の大切さ」について講演  
 カンナがけの実演と子どもたちによるカンナがけ体験  
 使用教材 : 木育(もくいく)ノート  
 「木のこと学ぼう!友だちになろう!」



## ■ 「カンナ社長のふれあい授業」などの活動報告

<< 東京都多摩市立西愛宕小学校 >>

実施日時：2010年12月22日（水）

西愛宕小学校が実施する体験学習授業として5・6年生37人を対象に、「カンナ社長のふれあい授業」を行いました。



授業では、「木の良さ」「もの大切さ」をテーマに、カンナ社長こと宮沢俊哉が間伐材を採用した天板を紹介しながら、木の素晴らしさや森林の大切さを紹介しました。

「木育ノート」を使用し、「木」を視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の五感で感じて欲しいと伝えた後、森林と間伐の必要性について説明し、アキュラホームが間伐材を積極的に利用することで日本の森を元気にしていきたいと伝えました。

そして子どもたちには、木を好きになってもらい、間伐材を採用した天板の机を大切に使って欲しいと説明しました。

宮沢によるカンナがけ実演後、5名の代表者がカンナがけ体験をする予定でしたが、あまりに希望者が多く、子どもたち全員が体験することになりました。

ヒノキに触れた子どもたちは、「つるつる！」「かつおぶしみたい！」等と声を上げ、ヒノキの手触りを楽しんでいました。

ふれあい授業の後、6年生の体験学習授業として自分たちの机の天板交換を体験しました。ドライバーを使ってビスを抜き古い天板を外した後、新しい天板を測って位置を決め、ビスを取り付けていきます。自分たちで天板を交換した「木ごころ机」を見て、「きれいになった！」ととても喜んでいる様子でした。

——児童代表から感謝の言葉——

自然のことや、作ることの難しさや楽しさを学ぶことができました。ありがとうございました。

※一部抜粋

## << 埼玉県熊谷市立 I 小学校 >>

実施日時：2011 年 1 月 31 日（月）

I 小学校にて 6 年生 139 名を対象に、「カンナ社長のふれあい授業」を行いました。



カンナがけ実演では、初めて見るカンナがけに子どもたちは釘づけの様子で、カンナ社長が綺麗なカンナくずを出すたびに「オオー」と歓声が上がリ、自然と拍手が起こりました。



実演後、子どもたちにヒノキに触れてもらおうと、「いい香りがする」とヒノキの香りを楽しむ児童や、「最初はザラザラだったのにすごくすべすべになった」と、カンナがけ前後の手触りの違いにとっても驚いていました。



次に、児童を代表して数名にカンナがけを体験してもらいました。

初めて触るカンナに緊張した様子の子や、力んで顔を真っ赤にしている子。社長にコツを教わり、みるみる上達する子もいました。

カンナがけを体験した児童たちは全員、出来たカンナくずを大切に持ち帰っていました。

授業の最後に全員で記念写真を撮影しました。

その後校長室にて、社長の宮沢より校長先生へ天板 144 枚の目録を贈呈しました。

校長先生からは、「木ごろ机を大切にに使わせていただきます。ふれあい授業は子どもたちにとってとてもよい経験になりました。大工になりたいという子が現れるかもしれませんね」とのお言葉がありました。

後日、授業に参加した 6 年生全員（139 人）から感想文が寄せられました。

### ——児童らの感想——

- ・ 今日には木のことをたくさん学びました。毎日のように見ている木も、「香り」や「手ざわり」を楽しめることができるんだなと思いました。
- ・ 今日の授業で木が大好きになりました。だから 11 月にかわった机を残り 2 ヶ月大事に使っていきたいです。今日はありがとうございました。

※一部抜粋

## << 東京都武蔵野市立D小学校 >>

実施日時：2010年11月22日（月）

小学校用学習机天板 102 枚を寄贈しました。

副校長先生からは、「子供たちは、登校して天板を交換された机を見て、本当に驚き喜んでいました。机がきれいになって環境が整うことで、子供たちもモノを大切に扱うようになります。また、環境教育は現在の教育課題でもあり、子供たちもグローバルに学んでいかなければなりません。そういう意味で天板交換は、間伐で森を整えるということを学ぶ良い機会となりました。机を是非有効に活用させていただきたいと思います。」とお言葉をいただきました。

## << 埼玉県内市立小学校 >>

実施日時：2011年2月17日（木）

小学校用学習机天板 145 枚を寄贈し、「カンナ社長のふれあい授業」を行いました。



「カンナ社長のふれあい授業」でヒノキを初めて触る子どもたちは、カンナがけ後のヒノキの手触りや香りに驚いた様子で、「すごい」「きれい（つるつる）になった」と声を出す子や、ヒノキに触れ手に移ったヒノキの香りを楽しんだりする子等が多くいました。

児童らのカンナがけ体験では、力が弱くてカンナが動かない子に対し、他の児童らが「頑張れ」と声をかける場面があったりと、とても賑やかな授業となりました。



今回天板交換を担当した大工の2名は、この小学校の卒業生。「自分の母校に対して、このような活動ができてとても嬉しいです」と1枚1枚の天板交換を丁寧に作業していました。

## ■ 埼玉の木づかいCO<sub>2</sub>貯蔵量認証制度の認証を取得



埼玉の木づかいCO<sub>2</sub>貯蔵量認証制度とは、  
埼玉県産木材を使用した木造住宅の建築や内装木質化を行う施主及び事業者、または木製品の製造者に対して、県産木材利用による環境貢献度を県が適正に評価することにより、社会全体でCO<sub>2</sub>削減に取り組む意識の醸成を図るとともに、県産木材の利用を促進することを目的とした制度です。県産木材を利用することで、森林が吸収した二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が炭素(C)として長期間にわたり木材に貯蔵されるため、地球温暖化の防止に貢献します。また、間伐などの森林の手入れがより一層推進されることにより、みどり豊かな森林づくりにも貢献します。

※小学校学習用机の天板は、木製品分野では初の認証となります。

## ■ 2011年度 木望の未来プロジェクト活動予定

全国にある当社支店(15支店)が地域の小学校に対して天板(約2000枚)の寄贈と、各校でふれあい授業を継続的に実施予定

- 5月 対象小学校決定
- 7月-11月 天板生産
- 11月-2月 天板交換・カンナ社長のふれあい授業実施

将来は当社が主宰する全国工務店ネットワーク「JAHBnet(ジャーブネット)」会員へその輪を広げていきたいと考えています。この活動を通じて、子どもたちに木の素晴らしさを啓発するとともに、間伐材を利用することで環境問題に取り組んでまいります。

## ■ アキュラホーム会社概要

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F
電話	03-6302-5001(代)
創業	1978(昭和53)年10月
資本金	9,314万円
従業員数	819名(11年2月)
事業	建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	309.28億円(10年2月期)
ホームページ	<a href="http://www.aqura.co.jp">http://www.aqura.co.jp</a>